

# 「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

能代山本地区特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

## すっきり・にっこり・びっくり・うっとり・ばっちり

先月、統括コーディネーターの業務内容を説明するため、三種町・藤里町・八峰町の小・中学校を訪問して、うれしかったこと・感じたことを紹介します。

### 1 学習環境が「すっきり」

- 学校にお邪魔したとき、①校内にゴミが落ちていないか、②廊下や教室が整理整頓されているか、③校内の時計が合っているか等を見ようとしています。どの学校もゴミが一つも落ちていないなど、校内の学習環境が「すっきり」整備されていました。学習環境の乱れは、児童生徒の内面や行動に好ましくない影響を与えます。人はいつも見ているものに、心が似てきます。身の回りをきれいにしようと心掛けている人は、心もきれいになります。



### 2 児童生徒の挨拶に「にっこり」

- 廊下ですれ違ったときや教室に入った瞬間、児童生徒が「おはようございます」「こんにちは」と、爽やかに大きな声で挨拶をする姿に、思わず「にっこり」しました。挨拶は一瞬で人を幸せにできる魔法の言葉です。挨拶ができると、①相手も心を開いてくれる、②相手も自分を認めてくれる、③周りの見る目が変わるなどの効果があります。いつでも誰に対しても気持ちのよい挨拶をするためには、普段の指導と教師が見本を示すことが大切です。

### 3 教室正面の掲示に「びっくり」

- 黒板付近の掲示物が最小限に抑えられており、学校全体で特別支援教育の視点による授業のユニバーサルデザイン化が推進されていることに、「びっくり」しました。視覚刺激に敏感に反応する児童生徒にとっては、余計な情報が遮断されるので授業に集中しやすくなります。
- 電子黒板を活用した授業が当たり前になっています。児童生徒は、目の前の大きなモニターを見ながら、電子黒板の横に立つ教師の話を聞くことができます。しかし、複数の情報を同時に処理することに苦手さのある児童生徒がいます。大事なことを伝えるときは、聞くと書くを区別するように、一時一作業が基本です。



### 4 一目で分かる板書と先生方の豊かな表情に「うっとり」

- 本時の流れを明記したり、めあての☑、まとめの☒等の文字カードを提示したりして、一目で授業の流れが分かる板書に、「うっとり」しました。集中力が途切れる児童生徒にとっては、板書が構造化されていると授業に参加しやすくなります。
- 先生方が明るく、表情豊かに授業をする姿に、「うっとり」しました。授業の充実度は、児童生徒の表情に表れます。笑顔やアイコンタクト等の非言語的メッセージで、児童生徒の心を揺さぶってほしいと思います。



### 5 支援員との連携が「ばっちり」

- 「定期的に支援員と打合せをして互いの悩みや授業で活用できる支援方法を共有しています」と、紹介してくれた学校があり、連携が「ばっちり」取れていると感じました。気になる児童生徒の最前線にいる支援員との連携は、児童生徒の変容のために不可欠です。支援員が一人で悩みを抱え込むことのないように、チーム全体で児童生徒や支援員も包み込む校内支援体制の構築が必要となります。

訪問を歓迎する看板の用意をはじめ、校内を丁寧に案内してくれた温かいおもてなしに、「ほっこり」しました。学校や保護者の都合を最優先に訪問します。支援の必要な児童生徒の心理検査の実施、ケース会議や校内研修会の開催等、どうぞ気軽に声を掛けてください。